

緑の相談コーナーだより

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

今月の便り

ジャガイモの呼び名・・・2

ジャガイモの呼び名に伝来した地名をつける例もあります。ジャガイモはジャガタラに由来しますが、馬鈴薯は中国語からとったものです。甲州イモ、信州イモ、秩父イモなどは取り寄せ先の地名を使ったものです。人名では、甲州代官中井清太夫に由来するセーダイモ、セーダが山梨県にあります。ジャガイモは古くから日本にあったものではなく、16世紀末？に長崎に入ってきた比較的新しい植物です。その割に多数の別名があるのは、ジャガイモが私どもと密接なかかわりがあったことを示しています。呼び名を研究機関の看板からひろってみますと、道立北見農業試験場には「馬鈴しょ科」というのがあり、農水省の北海道農業試験場には「ばれいしょ育種研究室」、また長崎県の試験場には「愛野馬鈴薯支場」というのがありました。これらは、漢字とひらがなの比率が少しずつ違っていますが、このように官庁とか農協ではひらがなの「ばれいしょ」を使うことが多く、学会などではカタカナの「ジャガイモ」、北海道の一般の人は単に「イモ」を使うことが多いので、一つの資料でも担当者によっていろいろ書かれます。(ながやす)

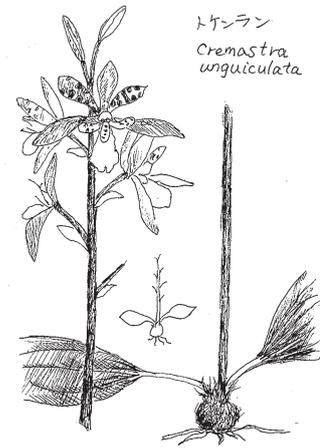
虫の話

空知地方では今年クスサンは少なめ。その代わりマイマイガは大量発生。春先はドクガの幼虫も沢山見かけました。私の庭では3種類のマルハナバチが飛び交い花から花へ。アリやハバチなどハチ目の昆虫は沢山います。7月の初め頃一気に飛び立つはずのナガチャコガネは出沒の日にちがまちまち。代わりにセマダラコガネを多く見かけます。バラもアブラムシは少なめですが、蕾に食らいつくバラゾウムシは多いです。アブラナ科の植物の樹液を吸うナガメというカメムシもセリ科に付くアカスジカメムシも相変わらずの存在感。7月に小さかったバッタ目の昆虫が8月には成虫になって綺麗な羽音を響かせるはず。身近に心あたりの虫はいますか？様々な野外活動をしたり、園芸をするにあたって虫は人間にとって難敵なので良く見かける虫の名前と特徴は覚えておく事をおすすめします。暑い夏。庭のある人は朝涼しいうちに長袖を着て虫のパトロールをすると早めの対処に繋がるでしょう。

トケンラン

トケンラン(杜鵑蘭)は国内では北海道、本州、四国、に分布するラン科の多年草です。道内では石狩、空知、胆振と道央圏に多くみられます。花の紫色の斑点を鳥のホトトギスの胸の斑紋に見立てたといわれます。トケンとは、杜鵑(ホトトギス)の音読みで、カッコウ科の鳥の古い呼び名です。北海道では「ホトトギス」は道南にしか生息せずあまり馴染みがないのですが斑点がある植物はなぜかホトトギスの名が付くものが多くあります。斑点は個体差

があつてあまりない花もあるようです。葉にも斑点がありますが花と同じように、目立つものやほとんど無いタイプもあります。葉だけでは似たランが複数あり見分けるのがむずかしいですね。葉は花後に枯れて秋に新しい葉を出しそのまま越冬します。花期の葉の斑点は色味が薄くなるようです。今年の利根別自然休養林の春の植物観察会でツボミを見つけその後花が咲いたところを見に行きましたが林の中で輝いて見えた気がしました。(いとう)



観葉ベコニアについて

真夏の暑い陽射しの中一際目を引く華やかな植物は鉢植えから吊り下げタイプハンギングバスケット仕上げなどで目立つ植物です。観葉ベコニアは大きく分けて3タイプに大別されます。【木立性タイプ】地下に根茎作らず茎が立ち上がるタイプでシャンデリアにも似た雰囲気です。【根茎性タイプ】レックスベコニアとして販売され半日陰くらいが好きな葉模様の多様性が目を引きます。【球根性タイプ】暑さに弱く冬の寒い時期は休眠します。花の種類は豪華な八重咲きなど人目を引くタイプです。タイプごとの生育条件を調べて夏の暑さを乗り切りましょう。真夏は室内はレースのカーテン越し屋外では半日陰で直射日光を避けて下さい。(たかはし)

緑の相談コーナー Q & A

Q ブドウの葉が茶色くなってきている。どうしたらよいか？
考えられる原因として以下にまとめます。

1. **晩腐病** 葉の様子が褐色様になっていくのが、この病気の兆候です。感染した葉を切り落とします。
2. **黒とう病** 葉っぱや果実に、茶色や黒色の小さな円形の小斑点が発生する病気です。梅雨の時期に発症しやすく、こまめに農薬などを散布するなどして対策すると良いでしょう。
3. **褐斑病** 葉っぱに赤褐色の斑点がつく病気です。葉に小さな白っぽい斑点ができ、2 mm ほどになる頃には茶色～黒色に変色します。病原菌によるもので、菌が風雨に乗って気孔や傷口から入ることで起こります。
4. **水不足** 長期間高温で雨が降らない場合、ブドウの葉の周囲から枯れてくるのは、灌水不足です。そのため土中要素のEC値が上がり、浸透圧での水分不足も加速します。



ひとつき ひとバラ



文： 曾 根 浩 太
(いわみざわ公園バラ園)



第一百十六回

フロリバンダローズ

グレーテル

Gretel

作出国：ドイツ

作者：Tim Hermann Kordes

作出年：2014年

ハーディネスゾーン：不明

四季咲き

交雑：名無し実生 × 名無し実生

今年の夏も暑さ厳しく、ほんとにあの扇風機だけで過ごせた北海道の夏はもうこないんだなと感じてしまいます。外仕事をする際は水分・塩分の補給をどうか欠かさず行ってください。今回は童話から飛び出したような可愛いフロリバンダローズ、グレーテルを紹介させていただきます。グレーテルは当園では縦通りの中間地点、ラリッサバルコニア、エスカペイドと同じ花壇にあります。植栽当時はラリッサバルコニア、エスカペイドの中間に合うような色味、花形を選んだつもりでしたが、今思うとエスカペイドの柔らかい雰囲気に対しては可愛すぎたかなとも思っています。花は半八重咲き、花色はクリーム色からサーモンピンクへと移り変わります。咲き始めが薄く、終わりに色づくのはあまりない色変わりですね。花弁は自然と落ちるセルフクリーニングのバラで、花がらをあえて取らなくても大丈夫です。葉はやや照り葉で深い緑色をしています。非常に耐病性に優れており、黒点病、うどんこ病等の病気には全くかかりません。また、耐寒性も高く、しっかりと冬囲いをすれば凍害も少なく越

冬することができます。香りが無いのが少し残念なポイントですかね。高さ 70 cm、幅 60 cmとコンパクトな樹形をしており、鉢でも育てやすいバラだと思います。これだけコンパクトだと花壇後方に植えると目立たないので、前方で活躍してもらいたいですね。Klima-Rosen® というコレクションで販売されており、これはコルデスの中でも水もあまりいらず、花が焼けることもないという耐暑性に優れたバラが揃ったコレクションです。耐寒性と耐暑性の両方を兼ね備えたバラということですね。名前は皆様ご存じのグリム童話ヘンゼルとグレーテルに登場するヘンゼルの妹グレーテルの名前からとられています。作出されたドイツでは「Rosero romantic」オーストラリアでは「Fire Opal」の名前で販売されているようです。Fire Opalの方は花色をなかなか的確に捉えている名前が面白いなと思いつつも、やはり慣れ親しんだグレーテルという名前がなんかしっくりきますね。グレーテルはとても育てやすい品種です。最初の1本にもお勧めです。ぜひ育ててみてください。

ローズフェスタ 2024 秋



紅葉とバラのコラボ
香り豊かな秋バラが咲き誇る



9.21 (土) ~ 10.6 (日)

皆様のご来園をお待ちしております

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



●8月17日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ⑥

料金:無料 定員:40名 講師:古舘 杏奈 さん

持ち物:筆記用具

☆9月の講座の申し込みは9月1日からになります

●9月8日(日) 13:00~15:00 飾って楽しい植物画

料金:200円 定員:40名 講師:木下 京子 さん

持ち物:筆記用具 スケッチブック 水彩画材

●9月16日(月祝) 13:00~15:00 楽しいキノコの見分け方

料金:無料 定員:40名 講師:伊藤 幸秀 さん

持ち物:筆記用具

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話:0126-25-6111 ホームページ:<https://iwamizawa-park.com/>

※資料ご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。

連絡なしの欠席・遅刻はお申し込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日3~4日位前までにお申し込みをお願いいたします。

※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しください。